

森の民話茶屋通信

Vol.11

『ふるさとの民話とふるさとの森をつないで...』

福島県地域づくりサポーター事業

森の民話茶屋
in 美術館 青



「朗読と語りの会」
グリン童話を語る櫻井美紀さん(東京)を迎えて
ジョイント公演。



賑わう店内。
4/28オープニングの日。



6/27(日) 飯野町民話の会の方々17名が街のバスで来店。
見送るスタッフを飯野町菅野アサ子さん撮す。

～4月20日～10月20日毎月1回発行～

発行責任者／森の民話茶屋店主 後藤みづほ
福島県安達郡大玉村玉井字前ヶ岳国有林7林班 Tel.0243-48-4648

店主スケッチの「森の民話茶屋」
クロスカントリーズキーステーション

店主が
生きる! 村のオウ子 Vol.10

自宅に天文台を作った
岩崎実さん(38才)・正江さん(34才)ご夫妻を訪ねて



星が大好きで、星の知識をいっぱい持って、しかも、自宅に天文台まで作った方がいらつしやる...という噂は聞いていたのですが、お会いするのは初めてです。私の不手際で、インタビュの許しを頂く暇も無いま、突然に、それも夜の8時近くに訪問するという誠に失礼な取材になりました。恐縮するばかりの私を5才の穂歌(ほのか)ちゃんと4才の凛太郎(れんたろう)くんが笑顔で出迎えてくれて、岩崎さんご夫妻も快くお話しを下さいました。

だんだん欲が出て望遠鏡は5台目です

Q/ご出身はどこですか?
岩/僕は伊達郡飯野町、彼女は栃木県です。
Q/星が好きになったきっかけは何ですか?
岩/父が理科の教師でしたから、小さい時からいろいろと星の話は聞かされていました。でも何とも感じなかったんです。それが中学生の時にテレビの「宇宙戦艦ヤマト」を見ていつべんに好きになりました。
Q/へえ、そうですか。(店主の娘も「宇宙戦艦ヤマト」の大ファンで、でもそれはあの壮大なスケールの音楽に対してだったことを思い出して、感慨深く...)
岩/いえいえ、ソフトボール部から社会研究部というなんだかわからない部でした。
Q/大学はどちらですか?
岩/二人とも東北福祉大です。デートの時は二人で星を見たこともありましたね。
Q/お仕事は?
岩/県立養護学校の教師です。僕が指前代、彼女は郡山。大変なお仕事ですね。大玉村にお住みになって、いかがですか?
岩/良い所ですね。雪はいるし、昨日の朝はオニヤンマの羽化を一家で見ました。
Q/どこで?
岩/わが家の天文台の壁で...。自然がいっぱい良いですよ。
Q/それは凄いですね。
「ほんのりドーム」と名付けたんです

は良いのですか?
岩/良いですよ。先日の獅子座流星群も素晴らしかったですよ、見ましたか?
Q/はい、でも一寸の時間だけでした。
岩/あの日は曇ったので真夜中から晴れて良かったんです。私は五才の穂歌(ほのか)も起こして午前2時から3時まで見ました。
Q/天文台を作るのは、夢でしたか?
岩/そうですね。家を建てる時は、そうしようと思っていました。本当は家の上に作りたいかったのですが、子どもが走る振動もレンズに影響があるとメーカーさんが言うので、別棟にしたのです。30センチの反射望遠鏡です。
Q/夢を生活に生かす...というのは素敵ですね。
岩/小さな天文台ですが、今、名前を付けようと思ってるんですよ。
Q/どんな?
岩/「ほんのりドーム」です(笑)
Q/良いですねえ。お二人のお子さんの名前から?
岩/そうですね。「ほのか」と「りんたろう」からです。
Q/なるほど...
でも星は望遠鏡を通さなくて見た方が良くいんです



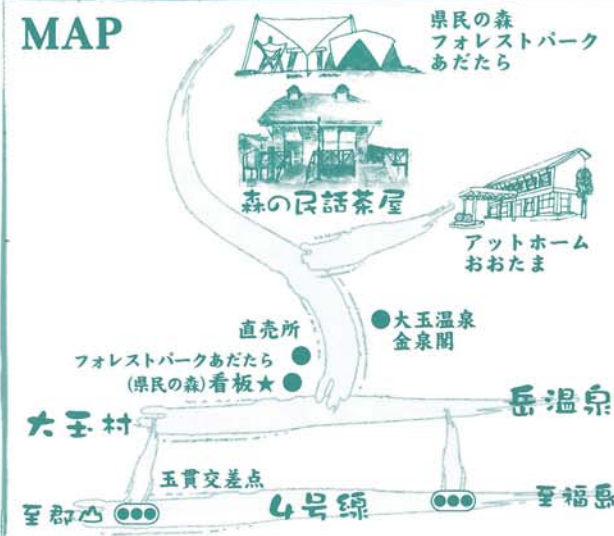
開店日が変わりました。
日曜・祝日から
毎週月・火を除く毎日に

営業時間は同じく10時30分～16時30分
お食事は、日曜・祝日のみ

平日のメニュー

- ・コーヒー ・アイスクリーム
- ・ジュース ・ところ天
- ・民話を聴きたい方は、電話で予約を入れてください。

MAP



お客様から届いたメッセージと写真



飯野町民話会
菅野フサ子さんから
丁寧なお手紙と
写真の数々を
お送り頂きました。→

↑レジスターに悪戦苦闘する様子も。



会津若松からお二人のボランティアさんと
一緒に来て下さった朽木道子さんと
店主のラジオ放送を聞いて...



↑飯野町民話会の皆さん。ご満足頂けたようで、私たちも大変嬉しいです。
またいらしてください。



←ご自身もラジオネーム「アプリコットクッキー」を
持っていて、素晴らしい感性の方でした。

森の民話茶屋
スタッフ
便り

祖母の思い出
馬場 秀子
(大玉茶道クラブ)

眠ったものです。近頃、村で民話を聴くたびに思い出すのは、その時の祖母の優しい声と肌のぬくもりです。

「森の民話茶屋」で小鳥の声や緑の風をバックに語られる民話の数々は、来館の子ども達の心に暖かい思いを残してくれることでしょう。

また、スタッフ一同の素朴なおもてなしが、お客様との交流をより深めることを願っております。

祖母の思い出、母の実家に行ったり祖母が泊まりに来た夜には必ず、祖母の「だんだん」や「タニシどん」などの、昔話を聞きながら祖母の話を聴くたびに思い出すのは、その時の祖母の優しい声と肌のぬくもりです。



↑福島リビング新聞社、佐藤忠雄様より。



カメラを向けたら、
皆さん快く笑顔で応えて
くださいました。



東和町にお住まいの
外国の方が来店してくださいました。



元気なお子さま二人を連れて。
満足してくれたかな？

ご兄弟がそれぞれ奥様方を
連れて、またおいで下さい
ました。民話「八十八声」に
「俺達の様だ」と、感慨深げ
でした。

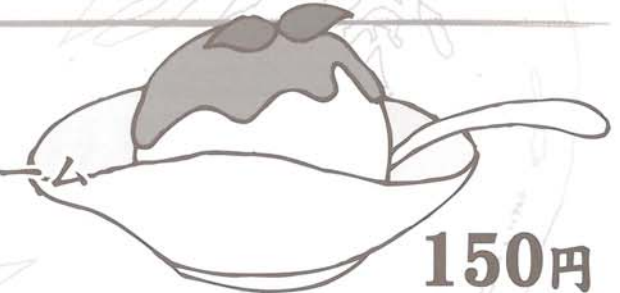
この日は大変天気が良く、
ご家族は景色を眺めながら、
気持ちよさそうに、外で
食事をなさっていました。



毎年恒例、オープニングのモチまき。
みんな沢山拾えたかな？

民話茶屋トッピックス

手作り 大玉村の苺で作った
ジャム付アイスクリーム



150円



大玉村観光協会の
パンフレットも揃いました。

電話とFAXが
入りました。
番号は
0243-48-4648
です。



手作り ところ天



100円